

日本ユニシスグループは、その黎明期よりコンピューターと応用技術の提供を通じて、日本の経済と社会の発展を支えてきました。今日、当社グループは企業理念として、「すべての人たちと共に人と環境にやさしい社会づくりに貢献します」を掲げています。

近年、膨大なデジタルデータを取り扱うために生み出されたコンピューティングアーキテクチャと、蓄積されたデータをもとに学習し認識・推論を行う AI 技術は、人々の生活の質の向上に大きく寄与し始めています。さらには地球上の誰一人として取り残さないために表明された国連の持続可能な開発目標(SDGs)で取上げている健康と福祉、気候変動など多くの課題解決に寄与するキーテクノロジーでもあります。

これらの技術、特に AI 技術は私たちの社会をより豊かに変革する力を持つ一方で、適切に利用、運用、管理されないかぎり、個人のプライバシーや多様性、公平性を損なうなど、社会に対してネガティブな影響を与えかねない側面を持っています。このため、多くの国と組織で AI に対する原理原則が作成され、AI の利用、運用、管理を通じて人間を中心とした「信頼できる AI」への取り組みが行われています。

日本ユニシスグループの AI 倫理指針

日本ユニシスグループは、功罪の両面を持つ AI 技術を用いて、「顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業」として、AI に関する倫理指針を表明します。

以下の AI 倫理指針は、AI 技術を用いたビジネス全体を対象とするとともに、それを支える AI 技術の開発、自社技術・他社技術に関わらず AI 技術を用いたシステムを対象とします。また、本指針における AI 技術とは、データをもとに行われる認識・推論などの知的なふるまいをするシステムやサービス（以下、AI システム）を支える技術全体を指します。

日本ユニシスグループは、以下のことに努めます。

AI システムを社会に浸透させるための応用技術を開発するとともに、それを担う人材の育成に努めます。

AI システムを利用したビジネスを提供するにあたり、適正な範囲及び方法で人との役割分担を行うよう努めます。また、人間の尊厳と個人の自律を尊重し、学習に用いるデータの質に留意するとともに、ステークホルダーに対し説明責任を果たすよう配慮します。

AI システムを提供するにあたり、利用者及び第三者の生命・身体・財産に危害が及ばないよう配慮するとともに、セキュリティを確保し、プライバシーが侵害されないように努めます。

AI システムを開発するにあたり、その判断にバイアスが含まれる可能性があることを認

識し、個人及び集団が不当に差別されないよう配慮します。また、AI システムの入出力等の検証可能性及び判断結果の説明可能性に留意します。

本指針は、法令や社会の動き、世の中の変化やステークホルダーとの対話を通じて、継続的に改訂を行います。また、日本ユニシス株式会社と日本ユニシス株式会社が議決権の過半数を直接、間接に保有する会社に適用されます。

制定日

2020年2月3日